

赤須賀水門周辺整備工事が完了しました。

木曾川下流河川事務所では、JR関西本線より下流側を高潮堤防区間と定め、整備をすすめています。

そのうち、桑名市赤須賀地区では平成18年より赤須賀水門の改築も含め、事業区間1.2kmの高潮堤防整備を実施してきました。

今回、そのすべての工事が完了しました。

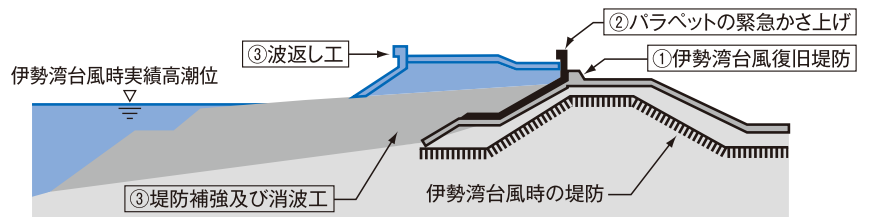


新しい赤須賀水門の扉は従来のまっすぐ上に引き上げる構造ではなく、引き上げながら扉が横転する構造になっています。これは背後の歴史ある町並みの景観に配慮し設計されたからです。

高潮堤防は3段階にわたって整備を実施しています

- ①伊勢湾台風による災害復旧工事 (S37年度完成)
- ②地盤沈下等による緊急かさ上げ (S63年度完成)
- ③現在実施中の高潮堤防補強

伊勢湾台風直後の赤須賀地区周辺



着工前の赤須賀地区 (平成18年3月撮影)



完成後の赤須賀水門と高潮堤防 (平成22年12月撮影)

赤須賀水門周辺整備工事竣工式が行われました。

平成23年1月18日、前日までの雪が残る中、赤須賀漁業協同組合主催による「赤須賀水門周辺整備工事竣工式」が執り行われました。

また、式の最後にはレリーフ除幕式も行われました。このレリーフは平成22年9月28日に桑名市立城東小学校の5・6年生を対象とした現場見学会で児童40名の手形を焼き物にしたものです。



赤須賀漁業協同組合秋田組合長の挨拶



堤防に貼り付けられた手形のレリーフ



手形をつける城東小学校の児童

樹木を寄贈していただきました。～カルチャービレッジで記念植樹～

平成23年1月21日、桑名市長島町西川の国営木曾三川公園カルチャービレッジにおいて、いちい信用金庫（愛知県一宮市）から寄贈していただいた樹木の記念植樹が行われました。寄贈していただいた樹木はヤマモモ5本で、これはいちい信用金庫からCO₂削減を目的として、国営木曾三川公園整備事業に対して協力の申し出をいただいたものです。

記念植樹に先立ち、平成22年12月8日に中部地方整備局（名古屋市中区）において受贈式が行われ、いちい信用金庫の高橋理事長から中部地方整備局長へ目録が手渡されています。



木曾川下流河川事務所長からの感謝状の贈呈



記念植樹の様子

「木曾三川だより」問い合わせ先